

熱血と笑顔の相乗効果

表紙の学校

栃木県立矢板東高校 松本秀則先生

2012年度に附属中学校が開校した栃木県立矢板東高校。多くの生徒が大学に進学する地域の進学校だ。1学年主任を務める松本秀則先生は、今年の学年テーマを「成長」とした。その根底には、「中学生から脱皮をし、今までとは違う自分を見付けてほしい」という思いがある。「高校時代は『自分って何だろう』と自分に向き合い、自分の根っこをつくる大切な時期です。だからこそ、学びたい学問やなりたい職業を中学生の時の視野で選ばずに、社会に触れながら多くの可能性を探ってほしいと思います」と語る。

そのために、生徒の希望を「一度崩す」ことを意識する。視野を広げるため、大学のシンポジウムなどを案内し、最近では、卒業生や保護者、大学教授など、さまざまな分野で活躍する人と話す機会を設けている。「多くの人の体験を聞くことで、生徒は『自分はどうなのか』と自問自答することでしょう。また、初めて会う人とのコミュニケーションでは、自分の考えを明確にしないと『伝わる言葉』にはなりません。多くの出会いが、自分を見つめる機会になるのです」

もっと生徒の想いや不安を聞きたいと、「待つこと」も意識する。面談でも答えや歩むべき道を示したり、決断を急がせるのではなく、「なぜその職業に就きたいのか」「社会にどう貢献したいのか」など、生徒が自分自身とじっくり向き合えるような質問を投げ掛ける。

生徒にとことん寄り添う松本先生の熱意の源は、何といても生徒の笑顔だ。生徒集会では「君たちの笑顔が見たいんだ」とストレートに語り掛ける。そんな松本先生を「熱血先生」とはじけるような笑顔で言う生徒たち。「熱血」と「笑顔」の相乗効果で、生徒は日々成長を重ねている。

VIEW21

2013 December ● Vol.5

ビュー21 12月号 / 2013年12月6日発行 / 通巻第343号

発行人 岡田晴奈 編集人 谷山和成

発行所 (株)ベネッセコーポレーション ベネッセ教育総合研究所

©Benesse Corporation 2013

お客様サービスセンター

【フリーダイヤル】

0120-350455

受付時間(祝日・年末・年始を除く)

月～金 8:00～19:00 / 土 8:00～17:00

株式会社ベネッセコーポレーション岡山本社

〒700-8686 岡山市北区南方3-7-17